

月例報告書 12 月

こんにちは。気づいたらあっという間に 2025 年が終わり 2026 年が始まりました。12 月は沢山のイベントで盛りだくさんな月だったのですが、皆さんはどうだったでしょうか。雪も降り、寒い日が続く中ですが、身体をあたためてお過ごしください。

<Marché de Noël>

12 月はクリスマスの季節。もちろん本場ヨーロッパは本気です。ディジョンみたいな小さい街でも 11 月の終わりごろにはあちこちでクリスマスの準備が始まります。イルミネーションから、お店の内装、そしてなんといってもマルシェ！

10 月の終わりごろからあったイルミネーションはハロウィン用だと思っていましたが、11 月 12 月もぶら下がり続けて、ようやく点灯。と同時に始まったマルシェには美味しいもの、素敵なものいろいろなものが並んでいました。私のお気に入りはやっぱりホットワインです。赤ワインも白ワインもあってそれぞれ少し風味が違って、美味しいで、シナモンやアルコールが体を温めてくれる寒い今にぴったりな一杯です。

ディジョンではそれだけでなく、冬季節限定のスケート場と観覧車がやってきます。なんと 1 ユーロで一時間滑れるスケートはなかなかお得だと思います。街中がクリスマスの温かい雰囲気で包まれる季節です。



さあ、クリスマスは始まったばかりと意気込んだ私はマルシェが一番豪華だと言われるアルザスに行つてきました。なんやかんやありアルザスに行くのは 3 回目。それでも今回は宿が安いところを探した結果、北から南に下っていくという豪華なルートになりました。一つ目はオグノー、小さな街で最も北に位置する場所。ディジョンと同じぐらいの規模ではあったのですが、その小さな、地元の人たちに愛されているような雰囲気がとても素敵でゆったりと私も過ごすことができました。もちろんホットワインを片手にこちらで初めて試したフルーツチョコは想像以上に美味しいかったです。可愛いクリスマスのオーナメントがたくさん並んだお店で、3 つほどお土産を購入。

宿は快適できれいで、広くてとてもよかったです。

次の街、アルザスで一番大きな街ストラスブールです。はしご旅だったので夜までは居られませんでしたが、やっぱりすごい数の人！マルシェに入るため荷物検査をされるぐらい盛大なマルシェでした。歩けないぐらいたくさん的人にすぐ疲れてしまった私はそのマルシェを抜け、いってみたかったギャラリーへ。ひとたび人混みを抜けると、まるで別の街に来たのかと思うほど静かになりましたが、そのおかげでゆっくりと作品を見ることができました。電車の時間が決まっていたので次の街へ。ミュルーズという一番南の街にきました。

駅から宿までの距離が離れていたので、先にマルシェに寄って行くことに。道筋にそって歩いていくと、いきなり開けた景色にマルシェが広がっていました。教会の前の広場で行われていたそれはとても大迫力で、一番心を打たれました。早速二度目のシュークルートを食べに行くことに。お店で食べたシュークルートとはまた違う、おこげや火が入りすぎてくたくたになったキャベツが、ローカル感を引き出していくとてもよかったです。マルシェはそれなりに大きかったので、見飽きることのないとても楽しい時間になりました。次の日は朝に食べたラクレットのサンドイッチに感動しながら次の街へ。



これもなかなか有名な街、コルマール。なんでもハウルや美女と野獣のモデルになっている街だとか、とすでに書いた気もしますが、クリスマスの雰囲気はまた一味違い、外観が特徴的な街なのも相まって、街ごとクリスマスのようでした。どこを見ても、絵本の中の世界にいるのか

と感じるぐらいに、こまごまと可愛く、眺め飽きない景色でした。そしてここにはディジョンの比じないくらいに大きい観覧車が、最初はすごいひとだったので諦めていましたが、時間が余ったので乗ることに。少しお高めではありましたが、2周とお得な時間ではあったと思います。

そんな感じのマルシェはしごをして気づいたことは、夏祭りのようだなと言うことです。盛大に花火が上がり、沢山の屋台で食べ物や商品を売っていて、多くの人がそこに集まり、楽しみ、帰っていく、全く違うものではあると思いますが、その雰囲気がまさにそれを思い出させました。

おかげでとても充実したクリスマスになりました。